

製品名: TAT ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18653**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	TAT
別名	TAT; Tyrosine aminotransferase; TAT; L-tyrosine:2-oxoglutarate aminotransferase
遺伝子 ID	6898.0
SwissProt ID	P17735
免疫原	抗血清はヒト TAT 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 255-304

背景

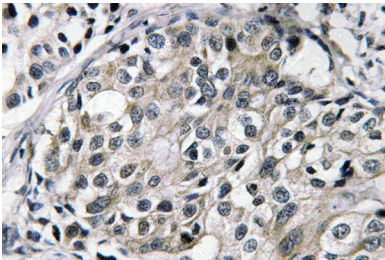
この核遺伝子は、肝臓に存在し、L-チロシンから p-ヒドロキシフェニルピルビン酸への変換を触媒するミトコンドリアタンパク質チロシンアミノトランスフェラーゼをコードする。この遺伝子の変異は、チロシン血症（II型、リッチナー・ハンハート症候群）を引き

起こす。これは、重度の皮膚および角膜病変を伴い、精神遅滞を伴う場合もある疾患である。チロシンアミノトランスフェラーゼの調節遺伝子はX連鎖性である。[RefSeq 提供、2008年7月]、触媒活性: L-チロシン + 2-オキソグルタル酸 = 4-ヒドロキシフェニルピルビン酸 + L-グルタミン酸。、補因子: ピリドキサルリン酸。、疾患: TAT の欠陥は、チロシン血症 2 型 (TYRO2) [MIM:276600]の原因である。リッチナー・ハンハート症候群としても知られる。TYRO2 は、血中および尿中のチロシン濃度の上昇と眼皮膚症状を特徴とする先天性代謝異常症です。典型的な症状としては、掌蹠角化症、有痛性角膜潰瘍、精神遅滞などが挙げられます。、経路: アミノ酸分解; L-フェニルアラニン分解; L-フェニルアラニンからアセト酢酸およびフマル酸: ステップ 2/6。、類似性: クラスIピリドキサルリン酸依存性アミノトランスフェラーゼファミリーに属する。、サブユニット: ホモ二量体。、

研究分野

ユビキノンおよびその他のテルペノイドキノンの生合成、システインおよびメチオニンの代謝、チロシンの代謝、フェニルアラニンの代謝、フェニルアラニン、チロシンおよびトリプトファンの生合成。

画像データ



パラフィン包埋ヒト乳癌組織における TAT 抗体の免疫組織化学分析。